

普及活動情勢報告（令和8年1月分）

中央西農業振興センター 高知農業改良普及所

こうちの野菜を学ぼう！～小学生への出前授業～



授業の様子

1月6、7日の2日間、高知市内の学童保育の小学生を対象に食育授業を行いました。授業では、高知県で多く栽培されている野菜11品目の説明や、野菜の流通について、また、天敵を利用した害虫防除などを、講義しました。

児童からは、「この野菜は家で作ったことある！」「他の天敵が食べるところも見てみたい！」とたくさんの声が飛び交いました。授業の締めには全員で高知やさい体操を踊り、高知野菜について楽しく理解を深めることができました。

普及所は、今後も高知市における食育の推進を支援していきます。

水稻生産の現状を学ぶ ～介良沖ノ丸環境保全の会 農業者の集い会議～



実証試験結果の報告

1月7日、高知市介良の白水公民館にて、介良沖ノ丸環境保全の会 農業者の集い会議が開催され、農業者8名と関係機関等16名が参加しました。

介良沖ノ丸環境保全の会では、毎年1月に中四国農政局高知県地域拠点や高知市等の関係機関や資材メーカーを招いて水稻情勢についての勉強会を開催しています。

普及所からは、令和7年度の水稲生育概況を振り返るとともに、県奨励品種決定現地調査や肥料による高温障害対策などの実証試験結果について報告し、農家からは「高温対策資材の試験をしてほしい」との要望がありました。

今後も普及所は、高温対策資材の実証ほの設置や栽培指導を通して、組織活動を支援していきます。

新規就農者確保に向けて！～指導農業士及び新規就農者との意見交換会～



意見交換会の様子

1月20日、JA高知県春野営農経済センターにて、「春野地域における指導農業士及び新規就農者との意見交換会」を開催し、春野地域の指導農業士9名、就農前の研修生も含めた新規就農者7名及び関係機関から10名が参加しました。

普及所からは、県内の新規就農者の動向や今年度の就農相談実績などを紹介しました。関係機関からの情報提供の後、新規就農者への支援に関する意見交換を行い、様々な立場での意見が出されました。新規就農者からは、「就農当初は収量が低くて悩んだが、指導農業士や家族に相談して乗り越えた」といった意見が出され、新規就農者を孤立させない関係構築の重要性を再認識しました。

普及所は、今後も指導農業士や関係機関と連携して新規就農者の受入れを支援していきます。